

## ■ いいな いいな とともに学んで ふれ合うまち 渋川（渋川小学校）

### 1 【活動の趣旨】

- ・地域の方や自然、くらし、文化に愛着や誇りを育む機会にするために環境教育を核に地域協働合校事業を進めている。
- ・全校で学びの成果を展示物にまとめ、「渋川 E（いいまち）S（しぶかわ）D（だいすき）ミュージアム」を開催し、保護者や地域の方に HP で発信している。

### 2 【特徴的な活動内容】

#### ○生活科「芋掘り」

春には1年生のこどもたちがサツマイモの苗を植える作業を、農園サポーターの方にお手伝いいただいた。

秋になり、そのサツマイモの収穫を行った。畑でしっかりと根を張ったサツマイモは、こどもたちの力だけではスムーズに掘ることができないため、農園サポーターの方にサツマイモの蔓や葉を切ったり、土をショベルで起こしたりしていただいた。こどもたちを支援していただきながら、一緒に収穫を楽しむことができた。



【1年生：芋掘り】

#### ○総合的な学習の時間「渋川花踊り」

自分たちの住んでいる地域に残る伝統文化の一つである「渋川花踊り」について、保存会の方を講師に招いて教えていただいた。実際に踊り方を教えていただいて踊ってみたり、お囃子に使う太鼓を叩かせていただいたり、花笠を被らせていただいたり、普段では経験できないことを体験させていただいた。



【4年生：渋川花踊り】

### 3 【実施に当たっての工夫】

地域に関わりのある物や、ゆかりのある方との調整を地域コーディネーターが中心となって行っている。また、地域コーディネーターと担任との連携を密に行うことにより、学校ニーズを把握した上で充実した活動を行うことができています。活動内容に関しては、見たり触れたり味わったりする体験的な活動を行うことで記憶に残るような活動にした。

### 4 【事業の成果】

すべての学年が地域の方の協力を得て、こども達に豊かな体験の場・学習の場を提供することができた。様々な活動を通してこどもたちは、地域に対する愛着を育んだことから、ふれあいまつりやわんぱくプラザ等の地域行事に積極的に参加するこどもも多い。テーマの通り、こどもも大人も活動に関わることで学び、ふれ合いを深めることができた。

### 5 【事業の今後の展望】

本年度は昨年度の反省を踏まえて内容の見直しや精選を図ったが、まだまだこどもの実態や学習内容に合わせて工夫する余地がある。めあてをしっかりと設定し、こどもたちに見通しをもたせた取組を進めたい。